

## 第3回 部会検討結果報告書（行財政運営部会）

記録者	佐々 顕子	場所	市役所北庁舎第1・2・3会議室		
開催日時・場所	平成26年8月27日（土） 午前10時00分 ~ 12時5分				
出席者 （9名）	栗原 昭良	小西 信生	澤田 浩宜	隆 宗男	
	吉武 考三郎	及川 慎也	武澤 秀幸	本木 祐輔	
	佐々 顕子				
傍聴者	1名				

基本施策名	5 - 2 経営的な視点に立った市政運営
-------	----------------------

今後（後期期間で）予想される新たなニーズ・課題（ウ）について

### 施策80：計画の着実な推進に向けたPDCAサイクルの充実

- ・予算があればあるだけ使い切る、という行政の感覚はおかしい。予算を使い切らなければ、次年度の枠が取りづらくなるという事情があるのだろうと推察するが、無駄が増えるだけである。民間企業であれば、予算より費用を圧縮できれば褒められるくらいである。できる限り費用を抑えて施行するという柔軟な体制にしてもらいたい。

### 施策81：長期的視点に立った公共資産の維持・活用

- ・一つの施設を複合的に使い、集約していったほうがいい。
- ・ワークシェアリングを導入し、人材を多様に活用していけないか。導入すると、職員の勤務形態は多様化するが、全体の労働時間を減らして賃金をカットしつつ、雇用が維持できる。また、浮いた労働時間で別の活動時間を創出できることに繋がる。
- ・法定外目的税を導入してはどうか。都内の事例としては、環境保全を目的とした税や、観光や地域振興を目的とした税などがあり、地方税のなかで使い道を定めることで、活用方法が明確になる。
- ・小中学校の屋上平場には広いスペースがあり、自然エネルギー利用の設備を設置することができれば、眠っているスペースを有効活用できる。

### 施策82：市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成

- ・個人情報の扱いについて、庁内での統一化が必要である。

後期基本計画策定に向けた見直しの論点（H30～33年度）（エ）について

### 施策80：計画の着実な推進に向けたPDCAサイクルの充実

- ・事務事業評価シートは全部で1000ページを超え、この膨大な量の文書の作成に、担当職員が多くの時間を割いて作成しているのだと思うが、記載ミスが目立つ。あまりの分量に、上司の方々は目を通し切れていないのではないかと。もっと文書をスリム化し、職員の時間と手間を

減らし、別の業務に労力を回してもらいたい。

### **施策 8 1：長期的視点に立った公共資産の維持・活用**

- ・施設利用者に、もっと受益者負担を求めていくべきではないのか。現状が安すぎではと思う。
- ・施設自体をシンプルな造りにすることが、維持管理を容易なものにし、結果としてランニングコストを抑えることに繋がる。
- ・最初は民間力を活用して維持管理を行うが、そこから市が手法を学び取り、次は自分たちの力で維持管理を行っていくというやり方が良いのではないか。
- ・築年数が相当経っている古い建物にランニングコストが掛かっている。最近の維持管理の傾向として、行政が直接管理する形態から、指定管理者制度に移行しているが、ツタヤ図書館のように上手くいっていない事例もあり、民間力を採用するのが必ずしも良いとは限らない。

### **施策 8 2：市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成**

- ・行政庁は民間と比べ昇格制度に課題があると思われる。高卒であるか大卒であるかによって、入庁時点で給料体系に差が生まれ、それ以降、頑張っても1段階ずつの昇格ができるかどうかである。また、例え優秀な人材であっても、昇格候補が何人も上にいれば、先に昇格することは制度上できない。頑張って成果を上げれば、2段階昇格できるというようなモチベーションの上がるような制度作りが必要だ。
- ・府中市は近隣市に比べ、職員採用の年齢制限が厳しいために、応募が少ないのではないか。年齢制限を引き上げて中途採用をもう少し積極的に行えば、眠っている人材の掘り起こしに繋がるのではないか。
- ・研修の中身をもっと充実させて、公務員として働くことの意識を深めてもらいたい。一部の人が遊んでいるということのないようにしてもらいたい。
- ・専門家の中途採用を積極的に行ったほうが良い。また、民間企業ではないので難しい面もあるとは思うが、もし一人の職員が複数のプロジェクトに携わるという兼任制が可能となれば、庁内における業務量の偏りが是正できると思われる。
- ・集団研修の意義を問い直したほうが良い。研修に参加することで、多くの時間が取られ、普段の業務に支障が出る。それが結果として残業に繋がっているのでは。効果が本当にあるのかを考えれば、研修形態のあり方を見直す必要がある。
- ・お金は多少掛かるが、海外研修を継続的に行い、見聞を広めてもらいたい。
- ・府中市の抱える課題や現状などを、近隣市と比較したうえで把握し、市民とより深い対話ができるような職員が増えてほしい。そのためには近隣市のデータも併せて学ぶような研修が必要である。
- ・個人情報の扱いが、職員によりばらばらで、統一されていない。以前ひどい扱いを受けたことがあり迷惑した。職員全体で、個人情報の扱いに対する意識付けをもっときちんとしてもらいたい。

## 協働の実践に向けて（オ）について

### 施策 8 1：長期的視点に立った公共資産の維持・活用

- ・施設再編に向けて、市民を交えた協議会を積極的に開催していただきたい。その上で現状は、市民の意見した内容がどのように反映されているのか見えづらい。もう少し分かり易くしてもらえると、提案した側としてのモチベーションが上がる。